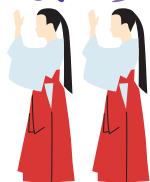




やまとの 神さま



薬園八幡神社は郡山城下にあり、創建は奈良時代にさかのぼります。749年、東大寺の大仏造立の鎮守のため宇佐八幡宮から勧請した八幡大神を分霊し、平城宮の南、梨原の地に祭ったのが始まりで、この地にもとよりあった広大な薬草園に由来する名とされます。

薬園八幡神社 (大和郡山市)



750年に今の御旅所(大和郡山市魚町)があ

- (住所) 大和郡山市材木町32
- (祭神) 八幡大神、比咩神
- (交通) JR郡山駅から徒歩約5分、近鉄郡山駅から徒歩約10分

- (拝観) 無料。約50種の薬草見本園あり
- (駐車場) 無
- (電話) 0743・53・1355

雌雄の狛犬に守られ

清澄荘薬園に遷され、1491年、現在地に鎮座したと伝わります。表門と鳥居の間にある石燈籠の鋭い文字には、柳里恭の号が刻まれており、江戸中期に活躍した文人画家、柳沢淇園の書であることから、郡山

藩主柳沢家との深い関わりがうかがわれます。境内に入っすぐ左側の燈籠は、江戸末期の安政伊賀地震で亡くなられた人々のために造られたといえます。狛犬は全国的に非常に珍しいもので、本来は特に性別があるものではありませんが、それを示す

特徴があり、向かって右側の愛嬌のある阿形がメスで、左側の威厳を感じる吽形がオスです。また、鎌倉時代から伝わる手のひらサイズの狛犬1対が本殿に大切に所蔵されています。本殿は一間社隅木入春日造で、正面は部戸となっており、1759年に改築、2009年にも改修されています。(奈良まほろばソムリエの会員 佳山隆生)